

～ 2011.3.11 東日本大震災を忘れない～

友好都市

# 岩手県陸前高田市への 名古屋市“行政丸ごと支援”

～子ども達の思い出づくりや市民交流に発展～



応援します!!  
東北!  
陸前高田市!



名古屋市

# あなたは東日本大震災の悲しみと教訓を忘れていませんか？



出典：いわて震災津波アーカイブ／提供者：宮古市



地震の後、  
巨大津波が押し寄せ  
堤防を乗り越えた



大型貨物船が乗り上げた釜石港  
出典：いわて震災津波アーカイブ／提供者：釜石市

## マグニチュード9の大地震が発生

平成23(2011)年3月11日の午後2時46分ごろ、東北地方の三陸沖で、マグニチュード9.0の地震が発生しました。

これまでに、日本国内で観測されたなかで最も大きく、宮城県栗原市で震度7を記録しました。この地震は、「東北地方太平洋沖地震」と名づけられました。

## 海の近くの市や町が津波で被災

この地震で大きな津波が発生し、沿岸の市や町をおそい、岩手県陸前高田市では津波浸水高が17.6mもの高さになりました。

また、福島県の太平洋側にある原子力発電所は、津波の被害を受け、放射性物質が放出される事故が発生しました。地震と津波がもたらしたこれらの災害を、「東日本大震災」と呼びます。



名勝高田松原をなぎ倒し、  
防潮堤を破壊し、まちをおそった

## 想定を超える巨大津波が まちや家をおそった



津波で浸水した陸前高田市役所

多くの人々が家を失い、  
避難所で寒さに耐えて暮らした



出典：いわて震災津波アーカイブ／提供者：日本赤十字社岩手県支部

あの時わたしは…

市役所の3階で  
津波にさらわれた  
避難は少しでも  
早く急がなければ



大坂 幹夫 さん  
岩手県陸前高田市元職員

津波が来たとき、市役所の3階の踊り場にいました。あかり採りの窓がぶち抜かれ、津波にさらわれてしまいました。スーパーの3階まで流され、天井の構造材につかまって助かりました。そのまま避難した数人で夜を明かし、凍死するかと思うほど寒い日でした。

市役所は海から1.5kmほど陸側にあり、鉄筋コンクリート造の3階建て、一部4階建てでした。地震の後に津波は来るとしていました。でも、1階が水につかるくらいで、2階に上がればだいじょうぶと油断していました。屋上へ逃げた人は助かりました。避難は少しでも早く、急がなければと思います。

## 岩手・宮城・福島に被災者が集中

東日本大震災での全国の死者・行方不明者は2万人以上。特に岩手県や宮城県、福島県の東北地方の沿岸部は津波の被害が大きく、道路や交通機関、学校や病院、公共施設なども被害を受けました。電気や水、ガスなども使えなくなりました。

東日本大震災の全国の被害状況(令和3年3月)

人の被害	死者	1万9,747人
	行方不明者	2,556人
	負傷者	6,242人
建物被害	全部こわれた家	12万2,005棟
	半分こわれた家	28万3,156棟
	一部こわれた家	74万9,732棟
	公共建物	1万4,527棟
	その他	9万2,890棟

出典：「平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震(東日本大震災)について(第161報)」総務省消防庁 災害対策本部



出典：いわて震災津波アーカイブ／提供者：陸前高田市

# 名古屋市は陸前高田市の復興を丸ごとバックアップ

## 「陸前高田市を助きたい」と考えた名古屋市

岩手県の陸前高田市では、市の中心にあった市役所が津波にのまれ、全職員の4分の1となる111人が犠牲となりました。

その結果、被災した人々への支援やまちを復旧する仕事が進まなくなりました。

そこで名古屋市は、陸前高田市の人々が元の暮らしにいち早く戻れるよう支援しようと考えました。

## 全国初の試み “行政丸ごと支援”

名古屋市は、さまざまな分野の専門的な職員を陸前高田市へ派遣し、市役所の仕事を丸ごと支援する“行政丸ごと支援”を行いました。この取り組みは、全国初の試みで、陸前高田市の復興を大きく支えることとなりました。

## 支援から学んだ教訓 災害の備えに生かす

派遣された職員たちは、被災した人の健康相談、新たなまちづくり、道路や学校の再建など、ニーズに応じた様々な仕事で力を尽くしました。

また、支援をする一方で、大きな地震が起きた時の備えを被災地から学び、現在の名古屋市の防災に生かしています。



震災直後の陸前高田市  
提供：東海新報社



震災10年後の陸前高田市



長年の支援により  
少しずつ  
まちの復興が進み、  
絆も生まれました。



中心市街地には商業・飲食施設などが集まりにぎわいが生まれている

最初の年は**144人**  
これまで延べ約**260人**の  
名古屋市職員が  
陸前高田市の復興状況に応じて  
支援を続けました

保健師は血圧測定と  
健康相談を行った



被災した書類の再生を行った



土地区画整理事業を  
進めてまちを再建した



土木技師は林道を整備した



仕事を求める人に  
就職支援を行った



新しくなった市街地に  
水道を整備した



新しくできた図書館の  
運営を手伝った



防災用品などをそろえて  
次の災害に備えた

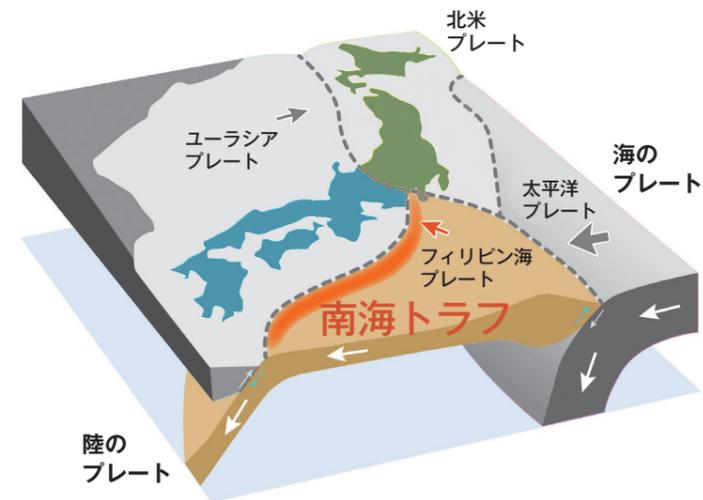


# 20XX年、名古屋でも南海トラフ地震が起きる？

## 今、起きるかもしれない！南海トラフ地震とは

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があり、できる限りの備えが必要です。

30年以内の発生確率は  
**70~80%!**



## 発災時の被害イメージを動画で確認しよう

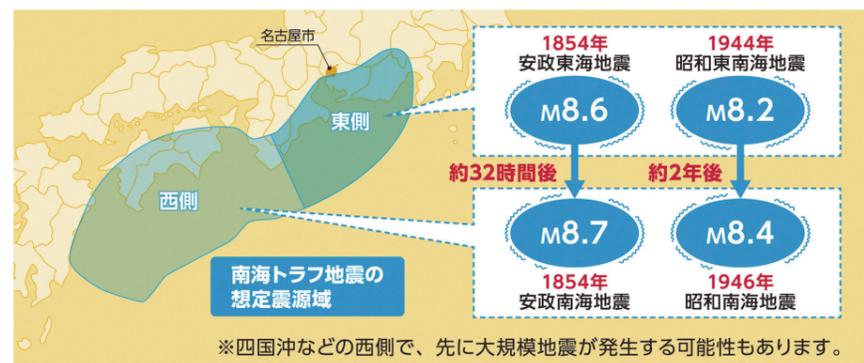
適切な対策をとり、備えることで命が助かります。



## 南海トラフ地震臨時情報(巨大地震警戒)とは

想定震源域の東側または西側のどちらかでマグニチュード8クラスの地震が発生し、1週間以内に地震がもう片側で起こる可能性が通常と比べて高まっている時に気象庁から発表されます。

西側で先に地震が発生した場合、本市の一部地域で事前避難が必要!



南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応リーフレット(内閣府作成)



### 南海トラフ地震が発生すると...

- 市内最大震度7の大きな揺れによる建物倒壊、火災発生
- 津波水位(T.P.)は最高3.6メートル
- 長期間の避難所生活(断水、停電等) など

最大死者数  
約6,700人  
(市内)

できる限りの備えを!

## あなたと、大切な人の命を守るために

### 1 地震の揺れに備える

#### 家具の固定など

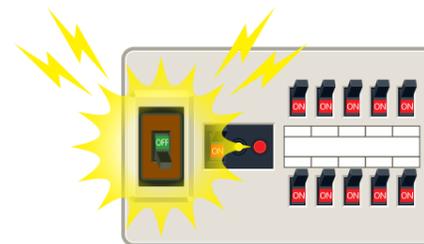
家具の転倒でけがをしないよう、L型金具や突っ張り棒などで、柱や天井に家具を固定しましょう。



### 2 地震火災に備える

#### 感震ブレーカーの設置

地震後の通電火災を防ぐため、地震を感知すると、自動的にブレーカーを落とす「感震ブレーカー」を設置しましょう。



### 水や食料などの備蓄

水や食料など、家族の人数に応じて、1週間程度の備蓄をしましょう。そのうち3日分は、非常持出品として、鞆に準備しておきましょう。

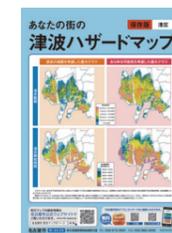
### 3 避難生活に備える

#### 家族との安否確認方法の確認

災害用伝言ダイヤル171や災害用伝言サービスなどで、家族との安否確認方法を確認しましょう。

伝言ダイヤル

171



津波ハザードマップ



地震ハザードマップ



ナゴヤ避難ガイド

### 避難場所・避難経路の確認

指定緊急避難場所・指定避難所の位置、地域のハザードマップなどを確認し、避難経路を決めておきましょう。

### 避難所の位置や開設状況はこれで確認

#### 災害時!最寄りの避難所開設情報

スマートフォンやパソコンで避難所等の「開設・未開設・満員」といった状況が確認できるウェブサイトを公開しています。



地震への備えは、普段から実施し、「南海トラフ地震臨時情報」の発表時には再確認しましょう。

# “行政丸ごと支援”をきっかけに 名古屋市と陸前高田市の交流が始まりました

これからも  
よろしくね！



楽しい思い出をつくってね！  
陸前高田市の子ども達を  
名古屋市に招待した

金シャチの  
大きさにびっくり！

やっぱり名古屋城を  
見なくちゃね！

あこがれの仕事を  
体験できた！

「ありがとう！」  
を伝えに名古屋市役所へ

病院で看護師体験

水族館で飼育体験

## 被災した子ども達を 名古屋市に招待

陸前高田市では校舎が被災したり、体育館が避難所になったり、校庭やグラウンドに仮設住宅が建てられたりしました。子ども達は不自由な環境で学校生活を送り、修学旅行にも行けなかったのです。

そこで名古屋市は、「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」を立ち上げ、市民に協力を呼びかけました。

## 多くの人が賛同し、 集まった寄附金

たくさんの名古屋の市民や団体、企業が賛同し、寄附金も集まりました。おかげで平成23(2011)年と翌年の2年間、陸前高田市の5校の中学生ら420人を名古屋市に招待。職場体験もふくめ、楽しい時間を過ごしてもらいました。

## 中学生が訪ね合う絆交流、 友好都市交流に発展

この交流を深めるために、名古屋市と陸前高田市の教育委員会が「絆協定」を結び、今も両市の中学生が互いに訪ね合う交流が続いています。

さらに、両市は友好都市の協定を平成26(2014)年に結び、様々な分野で市民どうしの交流を行っています。

## 絆交流 名古屋市 → 陸前高田市



名古屋市の中学生が  
陸前高田市へ  
行きました



震災遺構を見て、  
話を聞いて学びました

## 陸前高田市 → 名古屋市



両市の中学生が  
共同作成！



職場体験で  
ピザづくり！

## 友好都市協定 名古屋市 ⇄ 陸前高田市



友好都市  
の協定を  
結んだ

名古屋まつりで  
見せてくれた  
陸前高田市の  
赤磯太鼓



## 医療支援

「陸前高田市の子ども達を名古屋市へ招待するプロジェクト」を

きっかけに、看護師になりたい学生を名古屋で育成

名古屋市立大学病院で職場体験をした陸前高田市の中学生は、看護師になる夢をいっそう強く持ったそうです。それを知った名古屋市と名古屋市立大学は、陸前高田市から名古屋市立大学看護学部へ推薦入学できる制度をつくりました。この制度で学んだ10名の学生は現在、看護師や保健師として活躍。地域の医療の支援につながっています。

- 期間：平成25(2013)年4月からの5年間
- 卒業生：10名(岩手県内の病院・保健所で勤務)

名古屋市立大学  
看護学部での実習



# 震災を乗り越え、新しいまちづくりを進める友好都市・陸前高田市



気仙川のアユ釣り



広田湾名物のホタテ  
提供: (一社)陸前高田市観光物産協会



太陽と潮風を受けたリンゴ  
提供: (一社)陸前高田市観光物産協会



高田町うごく七夕まつり



東日本大震災津波伝承館

## 三陸海岸の豊かな自然の恵みを生かして

陸前高田市は、岩手県の東南部、三陸海岸の南の沿岸にあり、海や山、川など豊かな自然に恵まれたまちです。東北地方では温暖な気候で、リンゴなどの果物もとれます。三陸沖はたくさんの魚が集まる漁場で、水産業が盛んです。カキやホタテ、ワカメなどの養殖で全国的に知られています。

## 安全で住みやすくにぎわいが生まれるまちへ

市街地のほとんどのものが津波で流されたため、陸前高田市は安全で住みやすいまちづくりをめざしました。中心部の土地にかさ上げを行い、大型の商業施設や商店街、図書館、公園などを建設し、公共交通も整備しました。人が集まり、にぎわいが生まれるまちづくりが進められています。

## 震災の経験と教訓を子ども達に伝えていく

陸前高田市は被災の経験をまちづくりにも生かしました。高さ12.5m、全長約2kmの防潮堤や、高台に作られた住宅地へ逃げる道路を整備しました。そして、子ども達に地震や津波の恐ろしさを伝え、命を守る行動を身につけてもらうため、防災教育にも力を入れています。



子ども達を安全なところに導く妖精  
たかたのゆめちゃん

陸前高田市 ゆめ大使



### あの時わたしは…

避難訓練よりもさらに高い場所へこの経験は伝えていきたい



熊谷 葉月 さん  
東日本大震災津波伝承館の解説員

東日本大震災の時は岩手県立高田高校1年生で、あまりの揺れに部活動中の教室で座り込みました。避難訓練どおりに校庭に避難後、揺れが収まらず津波警報が出たので、校舎の裏の高台にあるグラウンドに逃げました。「津波が来たぞ」との声が聞こえ、誰かが奥の方へ逃げるのを見て、私も逃げました。その日は山奥のお寺で、部活のメンバーとお世話になりました。

当時、家族はバラバラにいましたが、「津波てんでんこ」の言葉どおりに、それぞれバラバラに自分達で決めた高台に逃げていました。学校での避難訓練や家族の話し合いがあって助かったと思います。

この経験は伝えていきたいと思っています。

## 陸前高田市「奇跡の一本松」と後継樹

陸前高田市は、三陸海岸沿いの広田湾の北にある平野に、市の中心部があります。震災前の広田湾沿いには、約2kmにわたって高田松原と呼ばれた美しい松原が続き、砂や潮風などの害からまちを守っていました。

しかし、津波で約7万本もあった松はなぎたおされました。一本だけ残った松の木は「奇跡の一本松」と呼ばれ、復興のシンボルになりましたが枯れてしまい、モニュメントとして保存されています。

震災後、支援と交流を続けてきた名古屋市へ、「奇跡の一本松」の接ぎ木から育てた「後継樹」が陸前高田市から贈られ、令和3年3月23日に東山動植物園の「きずなの広場」に植樹されました。

ちょうど10年前には、名古屋市職員が陸前高田市に初めて支援に入った特別な日でもあり、これらを記念して本市では毎年3月23日を「絆の日」と定め、様々な取り組みを通じて両市の友好関係を広く周知し、交流を続けていきます。



現在の奇跡の一本松と高田松原

提供：東海新報社



東山動植物園公式  
マスコットキャラクター  
スーボ

東山動植物園に植樹された  
奇跡の一本松の後継樹  
毎年3月23日は陸前高田市との「絆の日」



### 陸前高田市の概要

面積：231.94 km<sup>2</sup>

人口：18,483 人（令和3〔2021〕年3月）  
24,246 人（平成23〔2011〕年3月）



陸前高田市ゆめ大使  
たかたのゆめちゃん  
©AidTAKATA

### 震災による人の被害の状況

死者数：1,606 人（災害関連死を含む）

行方不明者数：202 人

死者・行方不明者の合計：1,808 人（総人口の7.5%）

出典：「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）について（第161報）」  
総務省消防庁災害対策本部 令和3年3月9日

お問い合わせ先

名古屋市被災地域支援本部事務局

TEL.052-972-3585 FAX.052-962-4030

（令和3年11月発行）

名古屋市の被災地支援の取り組みや交流について、より詳細にまとめた冊子も発行しております。

こちらからご覧いただけます →



陸前高田市  
奇跡の一本松  
AR CAMERA →

